

3

SECOND LIFE

セカンドライフ

これからの
シニアが望む
3つの欲求

自己実現していくための支援を

かつて高齢化といえば地方のテーマであったが、今後、高齢者が急増するのは大都市圏だ。2010年から2025年にかけて全国では733万人増加するが、そのうち5割を首都圏、近畿圏、中京圏で占める。都道府県別の増加を見ると、上位5位のうち4つが首都圏である（#03-01）。まさに高齢化問題は大都市の課題である。

なぜこうなるのか、理由は明白だ。戦後から高度成長期にかけて、大量の若年層が地方から大都市圏へ移動した。その人たちが次々と高齢者になっていけば当然、大都市圏で高齢者が増えるというわけである。なかでも大きなボリュームを占める団塊の世代が高齢者になっていく2010年以降、その傾向が顕著になっている。

団塊の世代が就職や進学で大都市圏へやってきた1970年前後、都会を中心に日本で初めて「若者マーケット」が成立した。団塊の世代は、学生運動でも注

目されたが、ファッションや音楽を中心に、新しい価値観をもつ消費者としても注目されたのである。その後も、「友達夫婦」「ニューファミリー」など、新しい消費者像を提供し続けた。この世代は、常にマーケティングの重要なターゲットであり続けたのである。

その世代がいま、65歳のラインを超えた。彼らは、総じて言えば昔の高齢者に比べて元気だし、社会参加の意欲やITリテラシーも高い。十分な時間ももっている。かつて、団塊の世代を中心に、新しい若者マーケットを作り上げたように、今度は新しいシニアマーケットを生むのではないか。多くのマーケティング関係者がそういう期待をもっている。

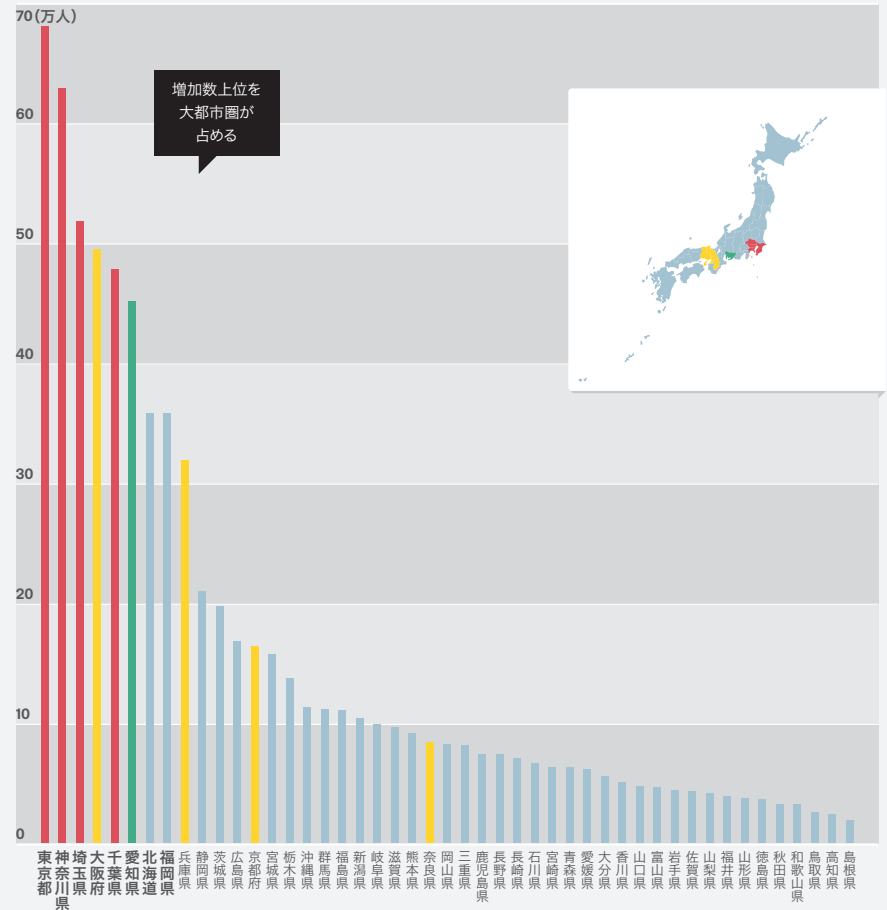
——マズローの欲求5段階説をヒントに

ここで重要なのは、シニアは何を望んでいるのか、基本的な欲求に立ち返ることだ。そこで第3章では、心理学者、エイブラハム・マズローの有名な「欲求5段階説」

#03-01 急増する大都市圏の高齢者

地域別高齢者人口増加数 (65歳以上 2010年→2025年)

● 首都圏 ● 近畿 ● 中京 ● 地方



出所:2010年実績は総務省「国勢調査」、2025年推計は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」より、MRI作成

にしたがって、シニアの欲求について考えていきたい。

マズローは、人間のさまざまな欲求は、5つの基本的な欲求に還元されるとした。しかも、その5つは階層化されているという。すなわち、低次の欲求が満たされ、飽和すると、より高次の欲求に向かうという関係にある。

#03-02で示すように、最も根本的な欲求は、食欲や睡眠にかかわる「生理」欲求だ。次に身体、財産・家族の保護などの「安全」欲求が続く。

高齢社会の文脈にあてはめれば、「生理」は医療や介護、「安全」はたとえば独居高齢者の安全という重要な課題と言い換えることができるだろうが、これらについては別の機会に論じたい。ここでメインテーマとして取り上げるのは、これからのシニアが望んでいるに違いない、3番目以降の3つの高次の欲求である。

まずは「所属・愛」だ。私たちは、これをわかりやすくするために「つながり」と表現したい。つまり、家族や社会とのつながりを求める帰属の欲求である。それが満たされると、人間は4番目の「尊敬・

承認」を目指す。他者、コミュニティ、社会などに認められたい、称賛されたいという欲求段階だ。ここでは、「認め合う」という言葉に置き換えることにする。そして最後に、「自己実現」の欲求に至るのだ。

——自己実現は人格の完成

マズローの「自己実現」は、多様に定義されており、自律性や創造性といった側面と同時に、人格や人間性の完成という側面が強調されている。東洋的に言えば「心の欲するところに従いて矩(のり)をこえず」(論語)であろうし、西洋の伝統で言えば、哲学者カントが「夜空に星の輝くごとくわが心のうちに輝く」とした道徳法則の実現だ。

もっともマズローは、決して清貧や聖人君子を求めている。4つの欲求を満たすのが先決で、そうすれば人間は自然に自己実現の欲求に向かう、としている。シニアの高次の欲求をサポートするという観点からは、シニアマーケットの無限の可能性が見えてくる。同時に、自己実現をし、社会の担い手として活躍するシニアの姿も見えてくるのだ。

#03-02 これからのシニアは何を求めているのか マズローの欲求5段階説の上位3つの欲求にヒントがある

【参考：マズローの定義】

自己実現 Self-Actualization

道徳性・創造性・
自律性・課題解決・
公平性・受容性

尊敬・承認(認め合う) Esteem

自己評価・信頼・
達成・相互の尊敬

所属・愛(つながり) Love・Belonging

友情・家族・
性的親密性

これからのシニアの
欲求領域

Safety 安全

身体・財産・家族・
健康などの安全

Physiological 生理

呼吸・食欲・
性欲・睡眠など

※高齢社会の文脈にあてはめると、マズローの図式の第1段階の「生理」は介護・医療に、第2段階の「安全」は主に独居高齢者の安全に該当する。いずれも重要なテーマであるが、本書では自己実現を目指すシニアに焦点を定めている。

出所：マズローの欲求5段階説より、MRI作成